北海道内活火山の活動状況
（2024年7月～2025年10月10日※）

札幌管区気象台

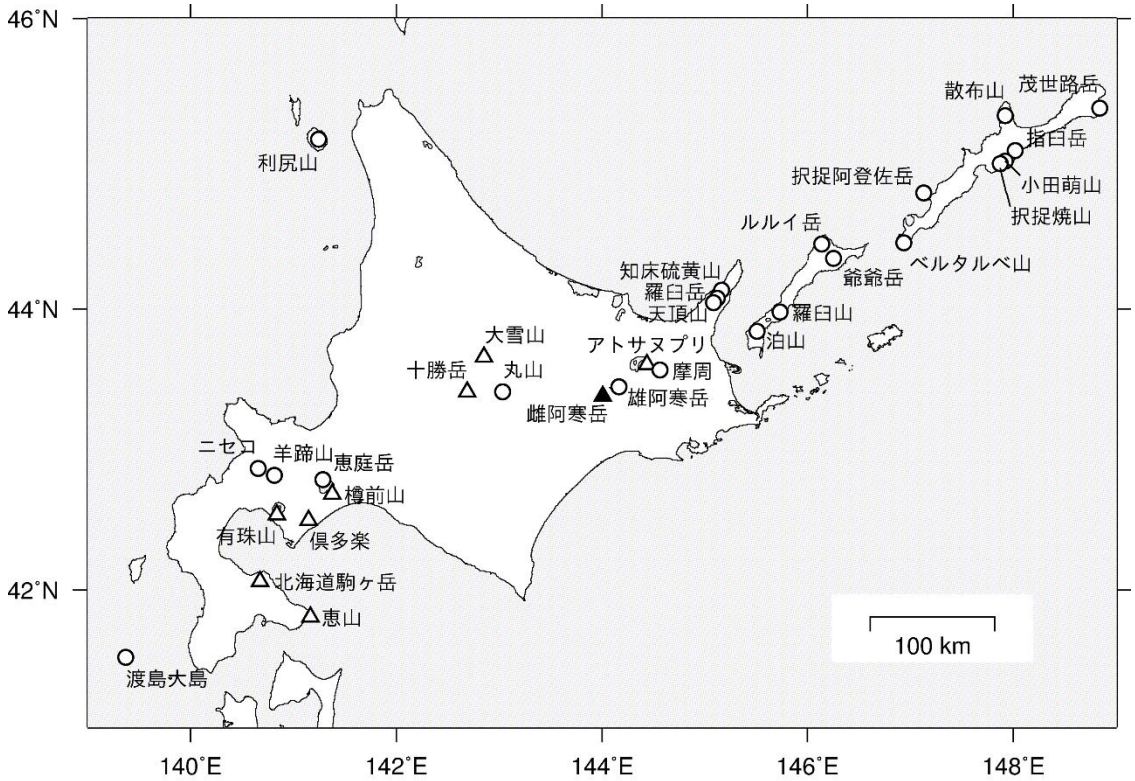
※各図表の末日は2025年6月30日です。

噴火警報・予報の発表状況・履歴、活動概況

2025年9月15日に雌阿寒岳の噴火警戒レベルを1（活火山であることに注意）から2（火口周辺規制）に引き上げた

噴火警報・予報の発表状況（2025年10月10日時点）

警報・予報	噴火警戒レベル及びキーワード	該当火山
火口周辺警報	レベル2（火口周辺規制）	雌阿寒岳
噴火予報	レベル1（活火山であることに留意）	アトサヌプリ、大雪山、十勝岳、樽前山、倶多楽、有珠山、北海道駒ヶ岳、恵山
	活火山であることに留意	知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、雄阿寒岳、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山



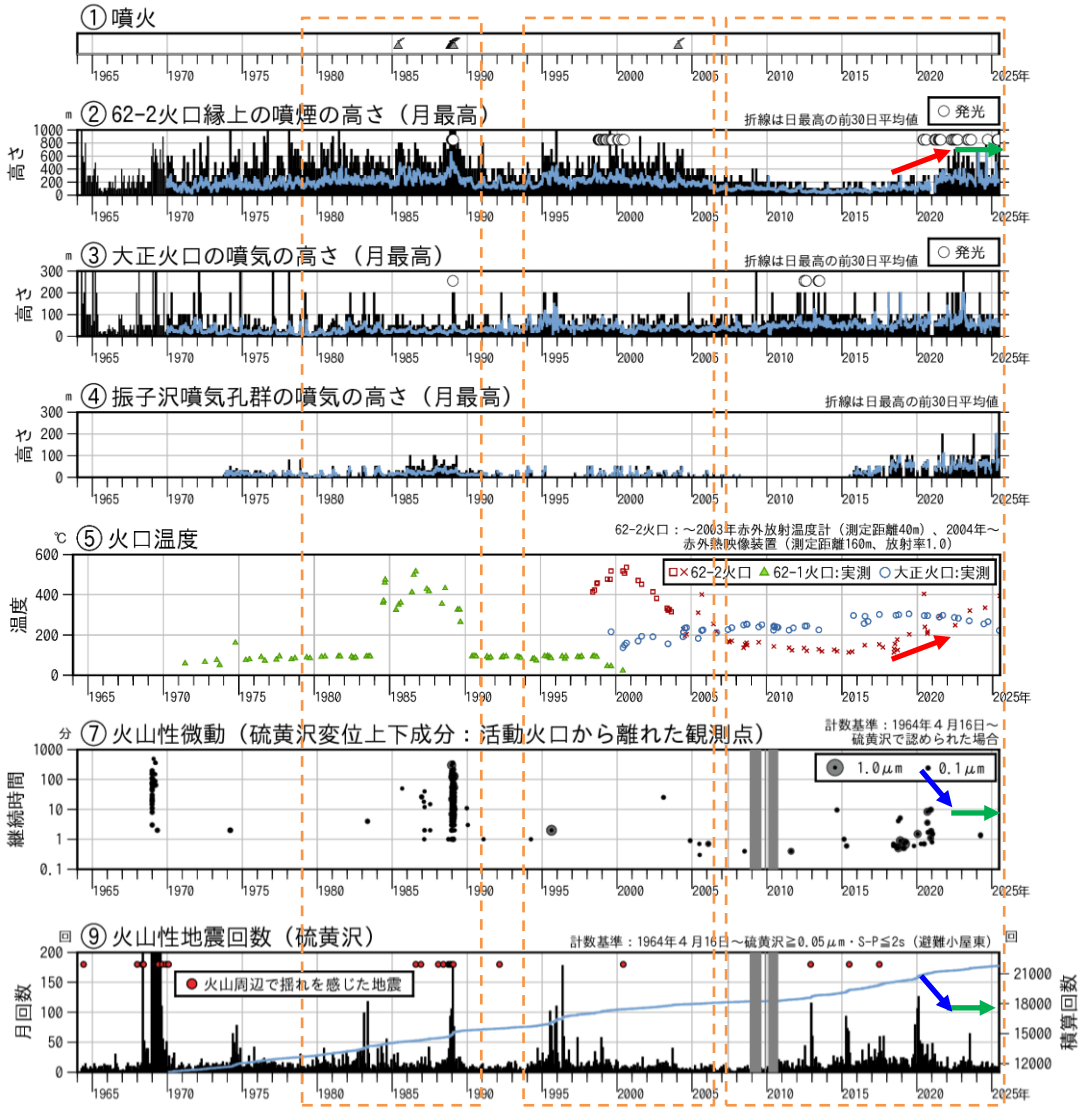
凡例

噴火警戒レベル運用対象の活火山（常時観測火山）
▲：噴火警報発表中
△：噴火予報発表中

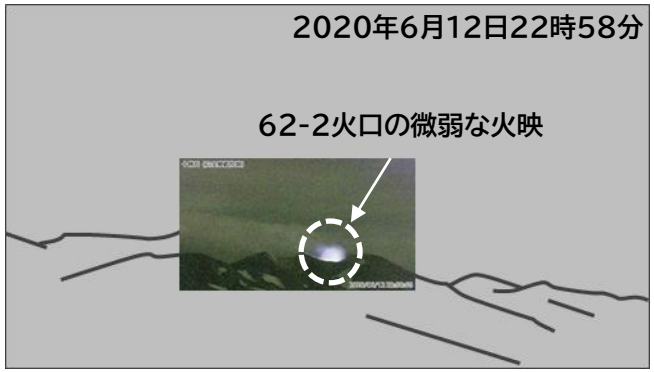
それ以外の活火山
●：噴火警報発表中
○：噴火予報発表中

十勝岳の活動概況①（長期の経過）

- ➢引き続き、2021年頃に活発化した62-2火口の噴気活動が維持（②）
- ➢発光現象を観測、62-2火口内及び振子沢噴気孔群の一部は高温が継続（②、⑤）

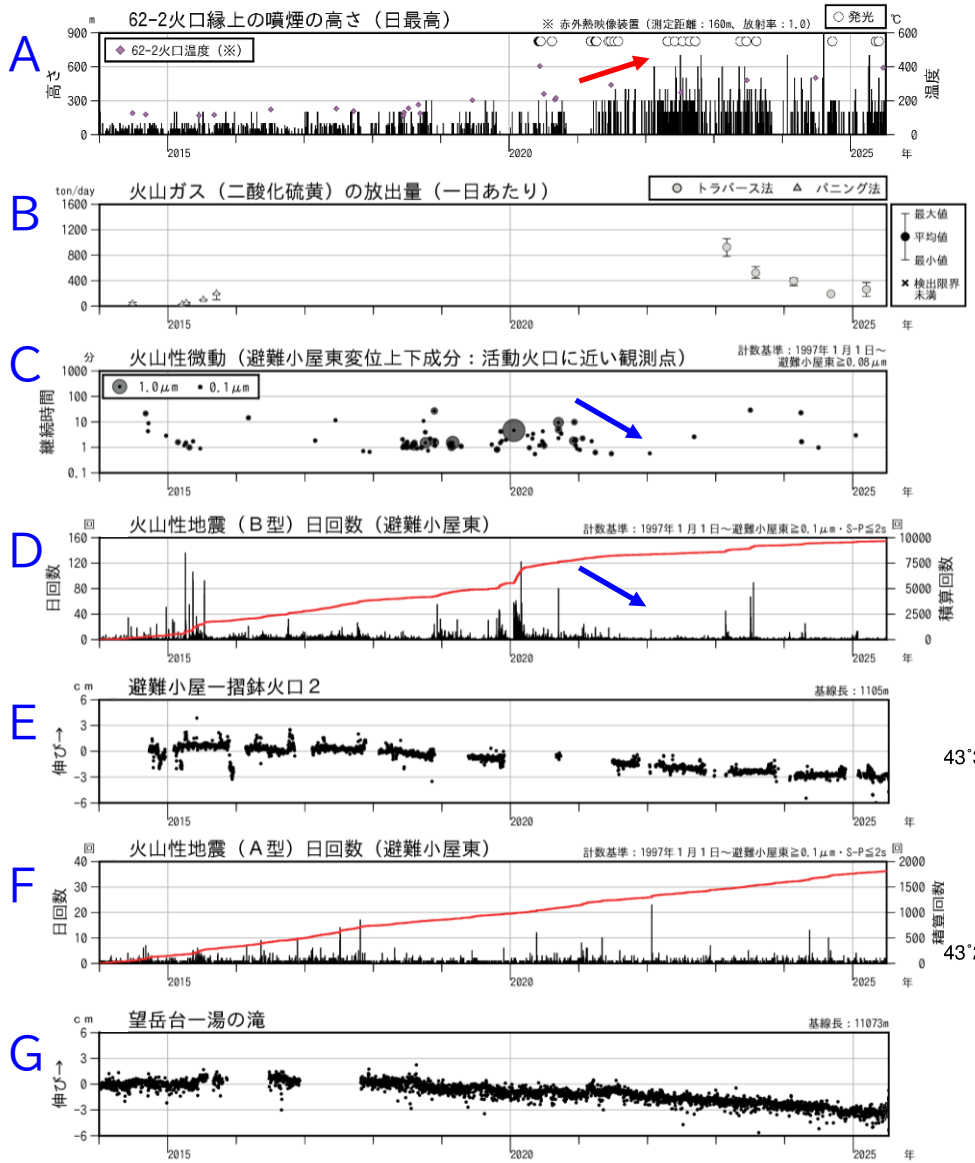


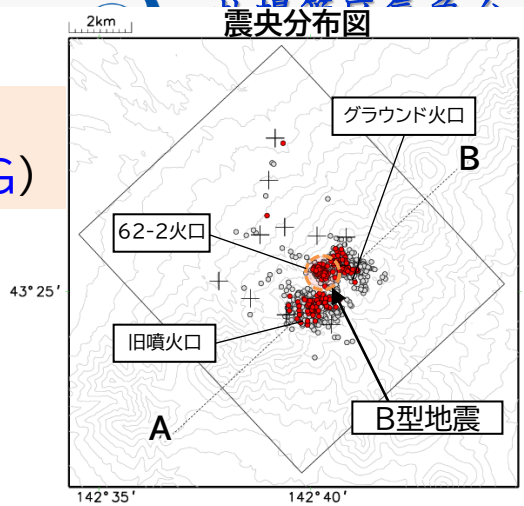
62-2火口内で時々観測される発光現象の例（図②）

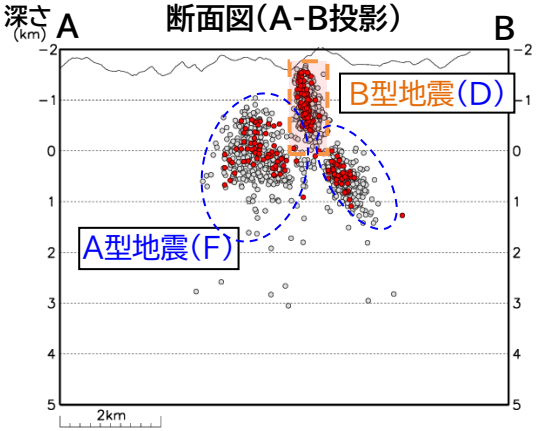


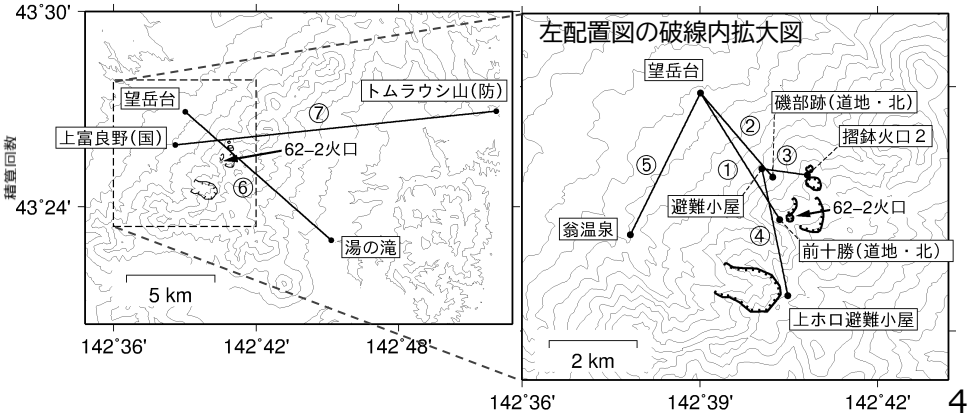
十勝岳の活動概況②（中期の経過）

- 地震活動は低調で、山体周辺の活動度は低い（図F、震源分布図）
- GNSS基線から地殻変動の状況に特段の変化は認められない（図E、G）





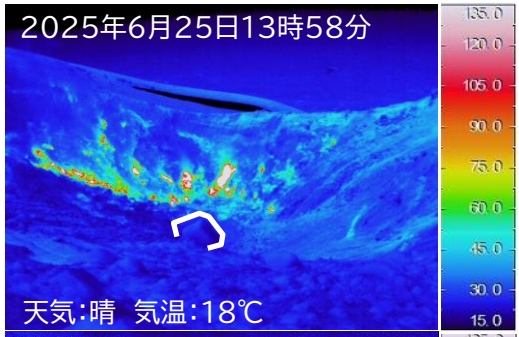


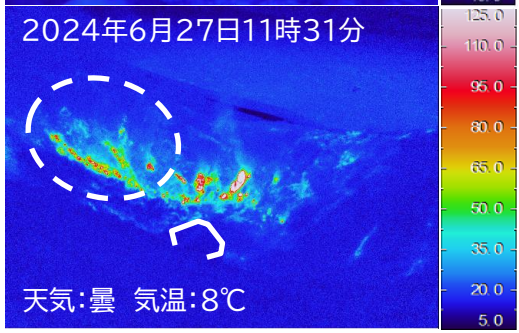
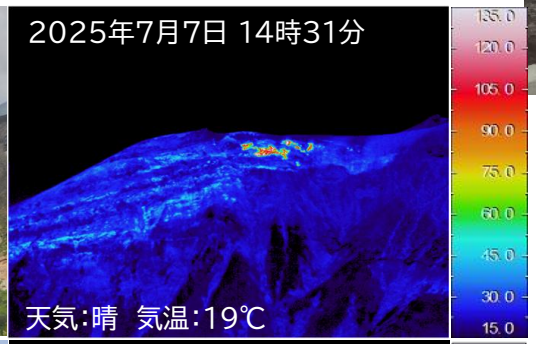
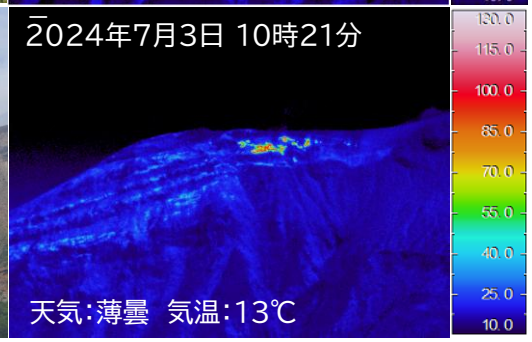
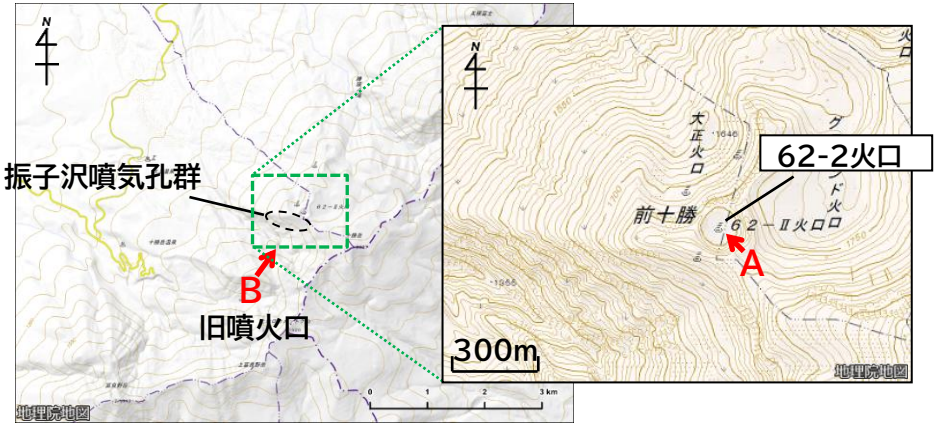


十勝岳の活動概況③（直近の熱活動の状況）

- 62-2火口内、振子沢噴気孔群では、引き続き高温の火口温度（表面温度）が維持されている
- 昨年と比べて地表面温度の高温部の位置、広がりに大きな変化はない
- 引き続き熱活動は活発だが、更なる活発化は認められない

Aから撮影





Bから撮影